

競技運営上の注意事項

本大会は、令和7年度日本陸上競技規則及び大会要項ならびに下記事項により運営する。

1. 競技開始時刻は、競技日程のとおりとし、**招集所（競技者係）は第4コーナー後方ゲート付近**に設ける。招集時間は以下のとおりとするので厳守すること。

■トラック競技：競技開始25分前から開始し15分前に完了。

■フィールド競技：競技開始30分前から開始し20分前に完了。

■リレーオーダーの提出は、競技開始時刻の90分前までに招集所に提出する。オーダー用紙は、招集所に用意する。

招集完了者は控所で待機し、競技者係の誘導で競技の場所へ移る。

2. スパイクのピンは、オールウェザー用で、9mm以下のものを使用し、やり投げ、走高跳については12mm以下とする。また、本数は11本以下とする。（競技規則 TR5.2）
3. レーン順及び試技順は、すべて主催者において決定する。
4. 走幅跳の試技は3回、投てきの試技は6回とする。
5. 60才以上の砲丸は男子5.0kg、女子3.0kgとする。
6. 跳躍のバーの上げ方は審判長がその場で決定する。
7. 中学校女子100mHのハードルの高さは0.762m。
8. 小学生の800mのスタートはオープンとする。
9. 小学生及び一般のアスリートビブスは、別に指定する。中学校・高校・については中・高体連登録者は、登録番号とする。また、スポーツ少年団についても、登録番号とする。 ※ 中学校の未登録者のアスリートビブスは、受付で指定する。
10. 貸与したアスリートビブスは、競技終了後、必ず本部受付に返納すること。
11. 800m以上の種目は、腰ナンバーを使用する。
12. その他必要なことは、その都度場内放送で指示する。
13. 雨天の場合、小学校については考慮する。
中学校・高校・一般については、実施する。
14. 競技中に発生した事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
15. 熱中症特別警戒アラートや津波注意報以上が発せられた時は、競技を中止する。
16. **その他**
 - ① 表彰式は行はず、賞状、メダルをロビー机上に配布するので各自受け取る。
 - ② 記録については、競技場エントランス入り口付近の掲示場所に掲示する。
 - ③ 競技場内への立入りは、選手、監督・コーチ、競技役員、補助員、来賓、報道に限る。